

◆授業のポイント◆

- ・ 基礎的・基本的な知識及び技術を活用する学習活動の工夫
- ・ 相互評価・自己評価の工夫
- ・ 学習した事柄を生活の場で活用する能力や態度を育成する指導の工夫

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

学 級	2年6組（男子19名 女子17名 計36名）
場 所	家庭科室（1年棟2階）
授業者	教 諭 精 松 真 由

1 学習内容及び題材

C 衣生活・住生活と自立「衣服の選択と手入れ」

2 題材について

近年、核家族の増加や女性の社会進出、職業の多様化に伴い、家庭の生活様式は各家庭によって特徴あるものになっている。自分たちの家族構成や価値観に応じたライフスタイルを確立しやすい反面、家族が一緒に家庭内で過ごす時間が少なく、生活の知恵や技術を継承できる場面も減っている。さらに、物が溢れ、安くて便利な商品に頼ってしまい、その消費活動の背景についての考えは、希薄になりつつある。今後、科学技術が急速に発展し、これまで以上に消費者に対応していく力が求められることも予想される。衣生活においても流通や消費における課題や環境問題への対応などの今日的課題に直面している。家事の社会化が進む現代こそ、生活に必要な物を上手に活用しながらも、環境に配慮し、物を大切に消費生活を営むことが求められていると思われる。「衣服の選択と手入れ」では、衣服の役割や自分らしい着方などを学んだ後、その衣服を大切に長く着るための手入れや補修の方法を学習する。本時では、手入れ（洗濯）に焦点を当て、生活を見直し、よりよい消費生活を営もうとする実践的な態度を養いたい。

生徒の実態としては、部活動や塾などの家庭外の活動時間が多く、家庭の仕事に毎日時間をかけて参加することが困難な状況である。多くの家庭で保護者がじっくりと子どもの家事の上達を見守ることが難しく、生活経験の不足が目立つようになってきた。実態調査の結果からは、家庭分野の学習の中でも衣生活の学習に興味をもっている生徒が少ないことがわかった。また、「干す」「取り入れる」「たたむ」などの部分的な作業は経験したことはあるが、一人で洗濯をしたり、洗剤を選んで購入したりする経験はほとんどないこともわかった。

そこで、指導にあたっては、観察や実験を通して興味を引き出した上で、これまでの自分の状況を振り返ることで今後のよりよい洗濯の仕方を選択することの必要性に気づかせたい。また、洗剤の特徴や環境への影響などの知識を得る時間を十分に設定することで、よりよい判断や解決、改善するための力をつけさせ、次に、習得した知識を活用する場面を設定することで、各家庭に合わせた洗濯の工夫をしていこうとする態度を育てたい。そして、学習内容と関連させた家庭での実践課題をさせることにより、各家庭のライフスタイルに合わせてつつも、より望ましい洗濯方法の選択や実践ができるようにし、生きる力を身につけさせたいと考えている。

3 単元の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

C 衣生活・住生活と自立

- (1) 衣服と社会生活との関わりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫することができる。
- (2) 日常着の計画的な活用を考え、適切な選択ができる。
- (3) 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができる。
- (4) 家族が住まう空間としての住居の機能が説明できる。
- (5) 安全で快適な室内空間の整え方を考え、よりよい住まい方の工夫ができる。

4 指導計画

C 衣生活・住生活と自立 (全25時間)

学 習 内 容		時 間
衣服の選択と手入れ	ア 衣服と社会生活とのかかわり、目的に応じた着用や個性を生かす着用の工夫	3
	イ 衣服の計画的な活用や選択	1
	ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ	5 (本時)
住居の機能と住まい方	ア 住居の基本的な機能	2
	イ 安全な室内環境の整え方、快適な住まいの工夫	2
衣生活、住生活などの生活の工夫	ア 布を用いた物の製作、生活を豊かにするための工夫	10
	イ 衣生活又は住生活についての課題と実践	2

5 評価規準 (本時)

ア 生活や技術への関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術についての知識・技術
<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の手入れに関心をもって、実験や話し合い活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとしている。 ○ 状況に応じた日常着の洗濯に関心をもち、これからの自分の生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服の材料や汚れの状態に応じて洗濯の方法を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 衣服や汚れの状態に応じた洗濯のしかたを選択するための情報を整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯の要点について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗剤の種類と特徴 ・ 洗剤のはたらき ・ 洗濯が環境へ与える影響 ・ 衣服や汚れの状況に応じた洗い方

6 本時の実際

- (1) 題材 「衣服の選択と手入れ」 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ

(2) 目標

- ① 自分の家庭に合わせた洗濯をしようという意欲をもち、実践的な課題を見つけることができる。
- ② よりよい洗濯をするために必要な情報を整理することができる。
- ③ 洗濯の手順や注意点を説明できる。
- ④ 意欲的に実験に参加する。

(3) 授業設計の工夫

- ① 基礎的・基本的な知識を復習と説明により定着させる。(習得のための工夫)
- ② 現状を把握させてから学習活動に入ること、目標を明確にして学習活動に取り組み、自分の考え方やその変化に気づける自己・相互評価の工夫をする。(自己・相互評価の工夫)
- ③ 班による話し合い活動や考え方・理由の発表などの活動により、さらに得た知識をもとにして考えを深める時間を設定する。(表現・深化の工夫)
- ④ 学習した事柄を自分の家庭の状況に合わせて活用しようとする態度を育成する指導と実践課題の工夫をする。(実践化の工夫)

(4) 本時の実際 (4 / 5)

過程	時間	学習の流れ	学習活動	指導上の留意点 【授業設計の工夫】①②③④	教具等
導入 (課題意識・課題の設定)	10分	はじめ			
		1 衣服の手入れの必要性を確認する	1 汚れた衣服を見て、気づいたことを発表する。 <学習課題>	1 前時「手入れの必要性」の確認を兼ねて汚れた衣服を見せ、洗濯に焦点を当てる。	前時ワークシート、汚れた衣服
		2 課題設定	2 自分の家族に合う洗濯の方法を考えよう。	2 本時の学習課題を設定する。個人課題にも気付かせる。本時の学習に対する自分の現状を記入させる。 (工夫②)	ワークシート
		3 できたか 4 補		3 挙手によって確認する。 4 学習のキーワードを掲示する。 (工夫①)	要点カードの掲示 教室の掲示物
展開	10分	5 洗濯時の注意点を整理する	5 既習の洗濯の手順や注意点を確認する。	5 既習事項を洗濯の手順に合わせて注意点を整理させる。 (工夫①)	グラフ「洗剤の量と洗浄」 デジタルテレビ
		6 わかったか 7 補		6 挙手により確認する 7 手順に合わせて要点を掲示する。	キーワードカード

展 開	20 分		<p>8 洗剤のはたらきを観察する。</p> <p>9 機間指導により確認する。</p> <p>10 再度観察するポイントを伝える。</p> <p>11 例に適すると思われる洗濯の仕方を班で話し合う。</p> <p>12 機間指導で確認する。</p> <p>13 既習事項をもとにヒントを与える。</p> <p>14 班で話し合った内容を発表したり，他の班の意見を聞いて助言したりする。</p>	<p>8 既習の用語が観察の中で確認できるようにする。 (工夫①)</p> <p>9 機間指導により確認する。</p> <p>10 再度観察するポイントを伝える。</p> <p>11 洗濯の方法を提案させるだけでなく，提案理由も説明できるようにする。 (工夫③)</p> <p>12 機間指導で確認する。</p> <p>13 既習事項をもとにヒントを与える。</p> <p>14 自分たちの考えを伝え，他の班の提案と理由を聞いてさらに考えを深めさせる。 (工夫③)</p> <p>15 発表内容を掲示し，要点がとらえられているか確認する。</p> <p>16 班の発表内容をわかりやすいことばに置き換えたり，補足したりする。</p>	<p>洗剤・油・炭素・割り箸・フェルト</p> <p>キーワードカード・班用ホワイトボード デジタルテレビ</p> <p>ホワイトボードの掲示</p>
		<p>まとめ</p> <p>自己評価</p> <p>次時予告</p> <p>おわり</p>	<p>17 自分の家族の洗濯物に合わせた洗濯を考える。</p> <p>18 学習内容を振り返り，自己評価し，今後の目標を立てる。</p> <p>19 次時の予告を聞く。</p>	<p>17 家族の生活に適した洗濯方法を選択し，感想や新たな課題を書かせる。 (工夫③④)</p> <p>18 活動2の評価と事後の評価を比較できるようにし，成長や変化が感じられるようにする。 (工夫②)</p> <p>19 次時で「洗濯の計画を立てる」学習をすることを伝える。 (工夫④)</p>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>
ま と め	10 分				